



2019-2020年度 主題

国際会長： Jennifer Jones 「より良い明日のために教を築く」
 アジア太平洋地域会長： “Action!”
 田中 博之（東京多摩みなみ）
 東日本区理事： 山田 敏明（十勝） 「勇気ある変革、愛ある行動！」
 湘南・沖縄部長： 森田 幸二郎（沖縄） 「ワイズを社会に広める再構築をする」
 クラブ会長： 今城 高之 「奉仕する、みんなちがって みんないい」
 ～まずは隣人から～



今月の聖句

心に植え付けられた御言葉を受け入れなさい。この御言葉は、あなたがたの魂を救うことができます。御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません。

ヤコブ書1：21-22

《巻頭メッセージ》

辻 剛

「碍」～見つまりそう、つながりそう、良くなっていきそう～

7月号のブリテンに「碍」という拙文を寄稿させていただきました。豊田徳次郎さんという方が取り組んでいる「障害」「障害者」の「害」は「碍」を使うべきであるという運動をご紹介しました。地味な話ですし、特に皆さんからの反応などは期待していませんでしたが、多少の反応や想定外の展開などがありましたので、いくつかご披露します。



＜この件に興味と関心を示す仲間が見つかった＞

7月号が配信された直後、H.Aさんはメールで「碍の記事、読み、関心をもちました」。アジア太平洋地域大会（以下「アジア大会」）で会ったI.Yさんは「今後はできるだけ碍の字を使います」。

(P6へ)

2019年8月本例会

日時 9月27日(金)18:30～

場所 かけはし都筑

司会 岡田美和 受付 今城宏子

《プログラム》

- 1) お弁当
- 2) 開会点鐘
- 3) ワイズソング・信条
- 4) 今月の聖句・祈祷 相賀先生
- 5) ゲスト・ビジター紹介
- 6) 会長挨拶
- 7) 卓話 山中奈子ワイズ
主事になること
- 7) Happy Birthday
山中奈子さん (9/15)
- 8) 報告・連絡
・You&Iコンサート最終連絡
・移動例会の詳細について
- 9) 閉会点鐘

新年度が始まり、早くも2か月余りが過ぎました。今年度のクラブ役員に一言ずつ語ってもらおうと、前号のクラブ書記辻 剛ワイズに引き続き、副会長の鈴木茂ワイズ、会計の今城宏子ワイズ(P4)に投稿していただきました。

副会長として思うこと

副会長 鈴木 茂

今年度のクラブ副会長を務めることになりました鈴木 茂です。次年度は会長という順番の様ですが、会長としての抱負や方針は具体的には何も決めていません。まずは、今年度の今城高之会長をお支えし、クラブ活動を楽しむためにお手伝いしたいと考えています。

ワイズメンズクラブはボランティア活動を目的とした社交クラブでありますから、楽しくなければクラブ活動を続ける意味がありません。クラブ活動が楽しさを発揮するためには、クラブ会員間の信頼関係と友好関係が不可欠であります。ボランティア活動に向き合う姿勢には一定の厳しさを伴いますが、会員相互に対しては信頼と敬愛と寛容が必要です。私たちはお互いに弱く、欠陥の多い者でありますから、相手に完璧を求めず、目くじらをたてることなく、許し合う態度が必要ではないかと考えています。これは自分に言い聞かせている言葉です。

前月のデータ

例会出席	21名	在籍会員数	17名	各種記録	前月	年度累計
メンバー	13名	月間出席者数	13名	使用済み切手	0	0
ビジター	5名	メーキャップ	1名	スマイル	0	12,000円
ゲスト	3名	月間出席率	82%			



《報告》 本例会+You & I コンサート運営委員会+クラブ納涼会 鈴木 恭子

日時：8月23日（金） 17：00～21：00
 場所：夢café（みんなの家 センター北駅前）
 出席：相賀、今城T・H、岡崎、岡田K・M、
 胡麻尻、鈴木K・S、辻、林、三木、
 山中、横田（14名）
 ビジター：久保、久米、中村、松井、吉本各氏
 （つるみクラブ）
 コンサート運営委員：（みんなの家）雲居さん、
 大島さん、（ACN）水谷先生

*クラブ本例会 17：00～18：00

司会：鈴木茂 受付：鈴木恭子
 ※つるみクラブから5名の方々が参加され嬉しい交流会となりました。

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング・ワイズの信条
3. 今月の聖句 相賀牧師
4. ゲスト・ビジター紹介
5. 会長挨拶 今城会長
6. 協議・報告・検討事項

1) You&Iコンサートについて

9月事務例会にて当日のスケジュールおよび役割分担を会長が提示することの報告。

2) 10月の移動例会について（10月25日）

訪問先は話し合いの結果、会長から提案のあった「山中湖」方面と決定。内容は今後決めることとする。

今後の候補者についての提案があり、各窓口が講師との調整を進める。

- ◇多摩みなみクラブ深尾香子さんと石田孝次さんよりファンドレイジングと茶道実演
- ◇川越正孝さん（田園江田教会員）より癌治療最近のゲノム療法について
- ◇西村晴道さんより世界の教会建築について

4) 山元町訪問日の件

訪問先、訪問者の日程を考慮し11月22日に仮決めし、先方との調整を進めることに決定。訪問予定者は、辻Ts、林Sで、さらにその他の参加者を募集する

7. Happy Birthday

林茂博、辻剛、久保勝昭、久米康子、松井美津子の皆さんにバースデープレゼントを差し上げた。



3) 今後の卓話候補者について

9月例会（27日）は、今般「主事」に昇格した山中奈子北YMCA館長に主事論文の要旨、主事の役割等についての卓話をお願いすることになった。

*第9回 You&Iコンサート運営委員会キックオフ会議 18：00～19：00

みんなの家会議室にて、来る9月28日（土）開催予定の第9回You&Iコンサートの運営委員会を開催した。参加者は、つづきクラブ（今城T、横田）、みんなの家（雲居さん、大島さん）、ACN（水谷さん）、YMCA（山中さん）の各氏。事務局（今城）より、準備の進捗状況を報告し、チケット販売への更なるご努力をお願いした。当日の役割分担等については改めて事務局より連絡することとなった。

*クラブ納涼会 19：00～21：00

（会場 夢カフェ/みんなの家）
 当クラブの恒例となった、持ち寄り納涼会には横浜つるみクラブの方々も、（次頁へ）

たくさんのご馳走と共に参加して下さり、テーブルの上には溢れるばかりのご馳走がならび、You&1コンサート運営委員の方もお招きして楽しい時を持つことができました。今回の会場となった夢Café（みんなの家）はセンター北

駅前にあり、立地、スペース、施設も、今回のようなクラブのイベントにはうってつけで、今後大いに活用させていただきたい。会食は予定の時間に終了し、全員で後片付けを行って閉会した。



《北Y便り》 横浜北YMCA 館長 山中奈子

8月後半もまだまだキャンプが続いています。8月17日～25日まで富士山YMCAで「アドベンチャーキャンプ」が行われ、北Yの田北さんがディレクターとして参加しました。

参加する子どもたちは小学3年生～高校3年生まで、キャンプベテランの参加者です。通常のキャンプは提供されたプログラムをこなすことが多いですが、アドベンチャーキャンプは自分たちでプログラムを作っていきます。野外炊事でパエリアを作ったり、大きなビニールシートを広げて、上から水を流してウォータースライダーを使ったり…自分たちで面白いことを考えながらキャンプを進めていきます。

メインイベントは富士登山です。2日間かけて富

士山に登ります。高山病にならないように最初の登りはゆっくりと、途中で深呼吸をしながら進んでいくのがコツです。8合目で1泊し、翌日頂上を目指します。今回はご来光を眺めることはできませんでしたが、頂上で食べたラーメンは格別だったようです。途中でギブアップせず全員で山頂に立つことができました。

子どもたちにとって、キャンプは自立への第1歩です。いつもお母さんがやってくれることも自分でやらなくてはなりません。1日中誰かと一緒に過ごすということは、人間関係を保っていくことが負担になることもあります。プラスのこともマイナスなことすべてがキャンプが教えてくれます。そんなキャンプが素敵な子どもたちを育てていくのです。

以上



《特別寄稿》 北海道部大会に出席して 辻 剛

猛暑の夏もようやく終わりワイズ新年度もいよいよ本格的に活動をスタートします。

9月～10月にかけて東日本区各部の部大会が予定されていますが、そのトップをきって北海道部大会が開催され、出席してまいりましたのでご報告いたします。（これから9月は、富士山部、関東東部、10月は東新部、あずさ部、の部大会が予定されております。湘南・沖縄部は2020年2月22日です。）

2019-20年度第1回北海道部 部評議会・部大会・懇親会

日時：2019年8月31日（土）14時～20時

場所：ホテルポールスター札幌

出席者：宮崎部長以下14名（成立）

参加者：田中アジア太平洋地域会長、東日本区（山田理事、宮内直前理事、板村次期理事、山下書記、小山事務所長、渡邊ユース事業主任、辻監事）

＜評議会＞ 宮崎部長の標語は「日々、新たな者としてYMCAとともに歩もう」。

・楽しみながら義務を果たして尚、権利を主張しない。そういう高次元の生き方を志向し、人間力を高め、奉仕をしよう大変格調高い理念を強調された。



・活動計画では「YMCAのブランドコンセプトを理解する」を第1目標とした。

会員増強については、北海道部会員を現在の46名から50名とすることを目標に。

＜部大会＞では、聖書朗読、部長挨拶、山田理事、田中アジア太平洋地域会長の挨拶などに続き、早速、宮崎部長が活動計画の一番目に掲げた目標に沿って「YMCAブランディングのこれまでとこれから」と題して、北海道YMCAの秋葉総主事から懇切丁寧な説明があった。さらに、杉山寿大さんのユースリーダー報告など。

＜懇親会＞は、3つのテーブルをそれぞれ10人ずつで囲み、宮内直前理事の挨拶の後、会食をしながら道内のクラブの紹介、2020年6月に十勝で開催する東日本区大会のアピールで、北海道部全員登録を誓うなど大変盛り上がりしました。（我々、東京組はフライトの都合で残念ながら19時過ぎに会場を後にしました。）

＜感想＞①今回は前日（8月30日）に十勝で区の常任役員会があったことから、31日に3時間半かけて帯広から札幌まで山下書記の運転で送っていただいたのですが、北海道はやはり広いと、つくづく感じました。道内4クラブの皆さんも一堂に会するのは簡単ではないと身をもって体験しました。北東部などはさらに大変だと思った次第です。

②今年の部の特徴は宮崎部長は前北海道YMCA総主事であり、秋葉現総主事は今年度の部会計を務めるという、まさにワイズとYMCAが表裏一体化していると感じました。

③私は過去何度か北海道部をおとずれましたが、今回は十勝クラブの山田敏明ワイズが理事に就任したこともあり、皆さん一段と元気で今年度の北海道部はいろいろな意味で期待が持てると感じました。お世話になった北海道部の皆さまに感謝しつつ報告を終わります。

（完）

（P1より続く）

クラブ会計を拝命して

会計 今城宏子

数字がとにかく苦手な私に会計が務まるのか。甚だ心もとない状況で新年度がスタートしました。鈴木恭子前年度会計様に「おんぶにだっこ」でこの2ヵ月過ぎました。相変わらずよく理解できないままですが・・・！？いかにこの数年、鈴木ご夫妻の力にお任せしてきたかを思い、改めて感謝と尊敬の念でいっぱいです。今後ともどうぞよろしくご指導下さいますようお願いいたします！

《特別報告》 2019年横浜・鎌倉・横浜とつか3クラブ 合同納涼例会参加報告

日時： 2019年8月22日（金） 18:30～20:30

会場： ロイヤルホール・ヨココハマ
横浜市中区山下町90番地

参加者： 39名（横浜12名、鎌倉6名、横浜とつか7名、厚木4名、金沢八景3名、横浜つるみ3名、ゲスト1名、ビジター2名、当クラブ1名）

初めての試みとして開催された頭書の3クラブ合同納涼例会に出席しました。この納涼例会は、従来横浜クラブが単独で開催してきましたが、湘南・沖縄部内の一層の交流と結束が必要であるとの認識から、部の合同納涼会にしようという構想が部評議会等で検討されてきました。ただ、各クラブの行事日程の調整問題もあり、実際には今回は上記3クラブ合同例会という形になりましたが、在湘南全クラブからの出席者があり、部合同納涼例会という趣旨をある程度実現できたのではないかと考えられました。

例会は横浜クラブ・古賀ワイズの司会で進められ、古田・横浜クラブ会長の開会点鐘・挨拶、ワイズソング・ワイズの信条、今月の聖句に引き続き、鎌倉クラブ・千葉会長の司式により同クラブへの吉田慧美さんの入会式が行なわれました。

会食・歓談に入ってから、横浜つるみの久保さんによるギター演奏やカラオケを中心に、大変和やかな雰囲気に変化しました。次いで、20年にわたりご自宅を開放し、毎年8月に納涼会を開催して下さった加藤利榮ご夫妻がご高齢等のご事情



(吉田慧美さんの入会式)



から、本年以降開催を中止されることになったこと、ならびにそのワイズ歴が今年で還暦を迎えられたことを記念して、ご夫妻に対する感謝とお祝

いのプログラムが持たれました。

総じて今回の納涼例会は、終始和やかで、将来のこの種の行事に希望が与えられる有意義な合同例会であったとの印象を受けました。



(加藤さんご夫妻への感謝)

(鈴木 茂 記)

《Change! 2022ニュース講読のお願い》

「Change! 2022」は、ワイズ創立100周年となる2022年をゴールとする東日本区の会員増強運動です。目標とする人数は、1997年に東日本区が発足した時の会員数1246名です。この目標を達成するために、会員増強に関連するニュースを発信しようと、東日本区では「Change! 2022 ニュース」を毎月15日に発行致します。是非お読みいただき会員増強活動のヒントにしていいただければ幸いです。

この《ニュース》を読むことによってお互いに刺激をもらい、与えあうために会員の皆様からも、会員増強に関連する記事の寄稿・投稿をお願いします。

- ・新クラブを立ち上げている
- ・こんな会員の誘い方がある
- ・新入会員の感想
- ・新しい会員増強のヒント

など、どのようなテーマでも随時受け付けますので、記事をお寄せください。

記事の送り先は、編集長の下記のアドレスへお願いいたします。

itami@tailor-itami.com

なお、ワイズドットコム、会員全員メール（ロースターに登録のある方）で配信しております。また、東日本区ホームページにも掲載されます。

Change!2022推進委員会

(巻頭より) その他にもお会いした何人かの方からも同様の励ましをいただきました。私も他クラブのブリテンは概ね目を通してはいますが、読むだけでなく興味のある話題には執筆者にコメントを差し上げると喜んでいただけるのではと自戒を込めて反省した次第です。

＜アジア大会と宝塚クラブと碍がつながった＞

最近、宝塚市(中川智子市長)が2019年4月より一定のルールのもと、公文書で「碍」の使用を開始しているという情報がありました。自治体では全国では初めてで、テレビでも大きく報道されたそうです。この情報に接したとき私はいずれ宝塚クラブにお願いして市の実施状況を調べていただくと考えていました。そんな折り、アジア大会のエクスカージョン・バスの中で宝塚クラブの多胡葉子会長との出会いがありました。このご縁で多胡会長にお願いして宝塚市の取り組みについて、同クラブのメンバーである井上聖ワイズ(元市議会議員)にいろいろ調査をしていただいております。普段、西日本区の方とは交流する機会がないのでこのような出会いは国際大会に参加する大きなメリットの一つだと思えました。

＜カントリーミュージシャンと社会福祉法人・理事長と「碍」＞

横浜つづきクラブのカントリー愛好家の一人、横田孝久ワイズが先日芦屋高校の後輩であるビリー・市田という、素晴らしいカントリーミュージシャンがいると教えてくれました。ビリー・市田はアメリカ在住で、アメリカで活躍しているのですが、時々日本に帰国して神戸のライブハウスなどで演奏をしています。そんなときはお姉さんの“竹中ナミ”さんが一緒に出演するそうです。この“ナミねえ”の本職は、社会法人「プロップ・ステーション」の理事長で障害者の自立を応援している。神戸生まれの神戸育ちで“ナミねえ”のニックネームで親しまれている超元気な関西人の由。障碍は神が与えた試練であると「障害」や害をカナで書く「障がい」などの呼称を社会からなくそう

と講演活動もしているそうです。因みに彼女は趣味でボーカリストとしてこちらの分野でも活躍しているそうです。思わぬところで、カントリーと碍がつながっていました。

＜豊田氏周辺からの情報＞

①日本を代表する有力な放送局が「障害」の「がい」の字の見直しを検討中という情報があります。日本障害者協会(JD)の理事長にヒアリングを実施して、「害」から脱出することを検討中しているそうです。緊急避難的に「障がい」「障がい者」を採用するか、あるいは「障碍」「障碍者」の表記採用に踏み切るのかはわかっていません。このような大きなメディアの媒体が「碍」を使用することになれば大きな進展が期待できるのではないのでしょうか。

②一橋大学の青木人志教授(大学院法学科)が本件に興味を持たれ、宝塚市のニュースに触発されて法令・法学世界の「しょうがい」表記の歴史を調べ、その論考が有斐閣のPR誌「書齋の窓」7月号に掲載され話題になっているそうです。青木教授が歴史を振り返って得た知見の要点は何点かあるようですが、おもな点は以下のようなものとのこと。①「障害」の使用例は戦前からある。②戦前および戦後まもない時代に一番多く使われた表記は「障碍」である。③現在は法令・法学者・法実務家の間で「障害」が定着した。しかし、教授は現段階では、上記の要点は特定の表記を支持するものではないとしており、今後はさらに漢字圏(中国、台湾、韓国など)の共通感覚と通用性を重視して国際対話を開始する必要があると結論付けています。

以上のようにいろんな方が興味と感心を持ってくださったり、意外な人と人が「碍」でつながったり、最終的には点が線になり、線が面になり、この件が良い方向に向かっていく期待持てる今日この頃です。

以上

編集後記

▼いったいどうなるのかとさえ思わされた今年の夏の暑さも、時が来ると、前触れもなく、秋の風に置き換わってしまう。何十回も経験しているのに、そのたびに不思議に思えます。▼イベントシーズンの先頭を切って開催されるのが、今年で9回目を迎える「ユア&アイコンサート」。我々の中にも、地域の皆さんの中にもすっかり根づいた感のあるこのコンサート。毎回、近隣Yからも応援が駆けつけてくれ大いに盛り上がります。▼これ以外にも、秋はクラブの移動例会、Yのチャリラン等々、たくさんさんのプログラムが目白押しです。(編集子)



TKBお仕事会は被災地に送る9月のバースデーカード。